第32回クロマティックハーモニカ道場 ー美塾 発表会

2026年11月22日(日)

曲順	演奏者等	演奏曲	教室
55	中島 一夫	Mambo Inn	講　師
	ハーモニカを始めて約３０年近くなりますが、ドレミファソラシドを練習した量は誰にも負けないという自負があります。 スケール練習は一番最初にやります。開始するときはいつも時計を前に置いて、よし！今からやるぞと気合いを入れて始めます。ダラダラとしない。いつかは世界一のハーモニカ奏者になるぞ（非現実的でも想像、イマジネーションは自由）と自分自身に言い聞かせて練習します。誰にも出せない太くて柔らかい包み込むような音を常に目指しています。深くくわえる、そして口が緊張しないようにといつも細心の注意を払っています。4オクターブのすべての音域で練習します。 一見馬鹿なような簡単なスケール練習でもコツコツとやっていると、音に張りが出てきて音色が変化します。口先が緊張しなくなります。唇がマウスピースの上を滑るようになります。ハーモニカの左右の動きのぎこちなさがだんだんとなくなります。ミスをしなくなります。段々と難易度の高い曲が吹けるようになります。1曲を仕上げる時間が格段と短くなります。体全体の力みがだんだんと取れてきます。暗譜が苦にならなくなります。音名（階名）がいつも頭の中を流れるようになります。ハーモニカの動きが頭の中でイメージできるようになります。音名が頭の中を流れてハーモニカの動きがイメージできるようになると、音を出さなくてもハーモニカの練習ができます。頭で練習することの効果は絶大。 演奏でミスをしたらどこに問題があったかを自分なりに分析しますが、人の心を傷付けるわけじゃなし、こういうこともあるさと開き直り、明日以降に持ち越さない。（しかしミスをした箇所は忘れない。） どうやってハーモニカに取り組むかという心構え、心の持ちようが一番大事だと思っています。		
56	中島 由美(ピアノ：木下 珠里)	四季メドレー	〃
	人はどうでも良いことは罪悪感、劣等感、嫉妬を感じません。 ハーモニカの練習をさぼった時の胸の痛み、、、ハーモニカへの愛情があるから。 あの人のように吹けない自分が情けない、、、あの人のように吹ける力があるから。 上手に演奏できる人がうらやましい、、、上手に吹ける力が備わってるから。 ～全て感情は、貴方の真実を知らせる宝物～		